

環境経営レポート 2024 年度版

活動期間：2024 年 1 月～12 月

発行：2025 年 3 月



エコアクション21
認証番号0005983

はじめに

＜産業用ロボット事業＞

私たち株式会社アイエイアイは、静岡県静岡市清水区に本社を置く、小型産業用ロボットのリーディングカンパニーです。

単軸・直交ロボットでは、国内・海外ともにトップシェアを誇っています。

数多くの営業拠点での充実したサポート体制により、自動化の進む自動車業界を中心に、電子部品・精密機器、家電、液晶・半導体、物流業界をはじめ、食品・医薬品・化粧品などさまざまな製造現場において幅広いお客様の生産性向上に貢献し、ものづくりを支えています。

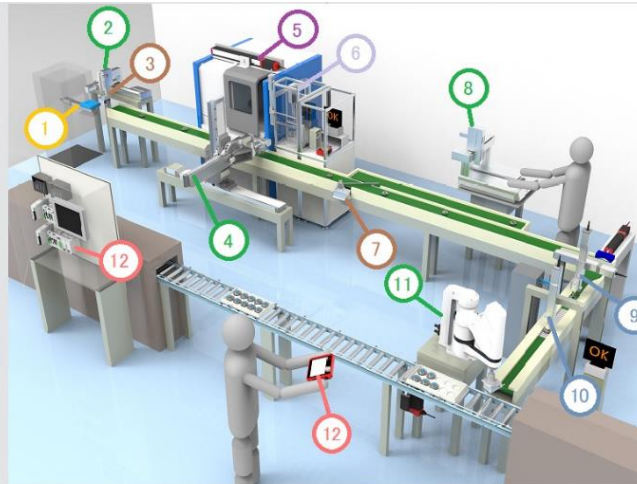
主力製品である「エレシリンダー」、「ロボシリンダー」は、省エネ性能に優れており、工場のCO₂排出量を抑え、温暖化防止に貢献する環境に優しい製品です。

＜エコファーム事業(農業研究部門)＞

2007年1月にエコファーム部(農業研究部門)を設立しました。化学合成農薬及び化学合成肥料を使用しない農法の開発と普及に努めています。

地球環境に配慮した環境経営を行う企業として、企業活動のあらゆる面で積極的に環境負荷低減活動を進めています。

＜産業用ロボット事業＞アイエイアイ製品の紹介（自動化ライン例）

① スライダータイプ 長距離・水平搬送に ストローク: 25~415mm 可搬質量: ~水平400/垂直80kg 速度: ~3000mm/s		⑦ ローター 回転・インデックステーブルに 本体幅: 45~180mm 最大トルク: 0.24~75N
② 直交ロボット ピック&プレース・検査に 軸数: 2~6軸 ベース軸可動範囲: 50~415mm 可搬質量: ~90kg		⑧ テーブルトップロボット セル生産に (コントローラー・電源内蔵) ベース軸可動範囲: 200~500mm 可搬質量: ~30kg
③ グリッパー 内径/外形把持で持上げる用途に ストローク: 2~130mm(片側) 最大把持力: 10~880N(両側)		⑨ テーブルタイプ 取付け簡便 スペース確保が必要な場合に ストローク: 20~390mm 可搬質量: ~水平30/垂直24kg
④ 直交型6軸ロボット ローダー・アンローダーに ベース軸可動範囲: 50~1100mm 可搬質量: ~2kg		⑩ ラジアルシリンダー* ラジアル荷重がかかる 押付け/引き込みをする際に ストローク: 25~800mm 可搬質量: ~水平300/垂直150kg
⑤ エレシリンダー* 2点間位置決め 価格: ¥27,500~(コントローラー内蔵) 製品: スライダー・ロッド・ラジアルシリンダー テーブル・グリッパー・ローター ストッパー・クリーン・防塵防滴	⑥ クリーン・防塵防滴 クリーンルーム内 粉塵や水のかかる環境に 製品: スライダー・ロッド ラジアルシリンダー・グリッパー ローター・スカラロボット	⑪ スカラロボット 塗布作業 高速バレイス動作に アーム長: 180~1200mm 可搬質量: ~50kg
	⑫ コントローラー コンパクトかつ多機能! ・異なるモーター種類の混在が可能。 ・直接数値指定や移動中の速度変更。 ・予兆安全など機能が豊富。 ・わかりやすいデバッグツールも充実	



電動アクチュエーターからコントローラー
スカラロボットまで一貫生産しています。

＜エコファーム事業(農業研究部門)＞



アイエイアイは持続可能型農業にも挑戦
しています。

目次

1 組織の概要	
1-1 会社概要(2025 年 2 月 1 日現在)	3
1-2 認証・登録の対象組織	5
2 対象範囲	
2-1 組織図	6
2-2 役割分担	6
3 環境経営方針	7
4 環境経営目標	
4-1 中期目標(3 年)と 2024 年度当期目標	8
4-2 新中期目標(3 年)と 2025 年度目標	8
5 環境経営目標と実績	
5-1 数値目標及び実績	9
5-2 数値目標及び実績のグラフ	10
6 環境活動計画と取組事例	
6-1 二酸化炭素排出量	11
6-2 廃棄物排出量	12
6-3 水使用量	12
6-4 環境負荷物質の適正管理	13
6-5 自らが生産・販売・提供する製品	13
7 環境保全と地域貢献活動	
7-1 富士宮社有林の森林整備について	14
7-2 里山の環境保全及び耕作放棄地の有効活用技術取組事例	15
7-3 環境事故訓練と法規遵守	16
7-4 地域コミュニケーション	17
7-5 継続的な人材の育成(技能五輪への挑戦)	20
8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟等の有無	21
9 代表者による全体評価と見直し結果	23

1 組織の概要

1-1 会社概要(2025 年 2 月 1 日現在)

会 社 名 : 株式会社アイエイアイ
 代 表 者 : 代表取締役社長 石田 徹
 所在地(本社) : 静岡県静岡市清水区庵原町 1210

事業所所在地		本社・本社工場	
 本社・本社工場	本社・本社工場 (静岡営業所含む)	静岡県静岡市清水区庵原町 1210	
	尾羽第一工場	TEL 054-364-5301	FAX 054-364-5182
	尾羽第二工場	TEL 054-333-9415	FAX 054-371-0081
	富士宮工場	TEL 054-364-8000	FAX 054-366-6311
 尾羽第一工場	東京営業所	東京都港区芝 3-24-7	
	大阪営業所	TEL 03-5419-1601	FAX 03-3455-5707
	名古屋営業所	大阪府大阪市北区中之島 6-2-40	
	小牧営業所	TEL 06-6479-0331	FAX 06-6479-0236
 尾羽第二工場	愛知営業所	愛知県名古屋市中区栄 5-28-12	
	四日市営業所	TEL 052-269-2931	FAX 052-269-2933
	新豊田営業所	愛知県小牧市中央 1-271	
	三河営業所	TEL 0568-73-5209	FAX 0568-73-5219
 富士宮工場	盛岡営業所	三重県四日市市諏訪栄町 1-12	
	秋田出張所	TEL 059-356-2246	FAX 059-356-2248
	仙台営業所	愛知県豊田市小坂本町 1-5-3	
	新潟営業所	TEL 0565-36-5115	FAX 0565-36-5116
	宇都宮営業所	愛知県安城市三河安城南町 1-15-8	
	熊谷営業所	TEL 0566-71-1888	FAX 0566-71-1877
	茨城営業所	岩手県盛岡市長田町 6-7	
		TEL 019-623-9700	FAX 019-623-9701
		秋田県にかほ市平沢字行ヒ森 2-4	
		TEL 0184-37-3011	FAX 0184-37-3012
		宮城県仙台市青葉区上杉 1-6-6	
		TEL 022-723-2031	FAX 022-723-2032
		新潟県長岡市千歳 3-5-17	
		TEL 0258-31-8320	FAX 0258-31-8321
		栃木県宇都宮市東宿郷 5-1-16	
		TEL 028-614-3651	FAX 028-614-3653
		埼玉県熊谷市籠原南 1-312	
		TEL 048-530-6555	FAX 048-530-6556
		茨城県牛久市ひたち野東 5-3-2	
		TEL 029-830-8312	FAX 029-830-8313

事業所所在地	多摩営業所	東京都立川市紫崎町 3-14-2	
		TEL 042-522-9881	FAX 042-522-9882
甲府営業所	山梨県甲府市丸の内 2-12-1		
		TEL 055-230-2626	FAX 055-230-2636
厚木営業所	神奈川県厚木市旭町 1-10-6		
		TEL 046-226-7131	FAX 046-226-7133
長野営業所	長野県松本市島立 943 番地		
		TEL 0263-40-3710	FAX 0263-40-3715
浜松営業所	静岡県浜松市中区大工町 125		
		TEL 053-459-1780	FAX 053-458-1318
金沢営業所	石川県金沢市西念 1 丁目 1-7		
		TEL 076-234-3116	FAX 076-234-3107
滋賀営業所	滋賀県守山市浮気町 300-21		
		TEL 077-514-2777	FAX 077-514-2778
京都営業所	京都府京都市伏見区竹田向代町 559		
		TEL 075-693-8211	FAX 075-693-8233
兵庫営業所	兵庫県明石市樽屋町 8-34		
		TEL 078-913-6333	FAX 078-913-6339
岡山営業所	岡山県岡山市北区下中野 311-114-101		
		TEL 086-805-2611	FAX 086-244-6767
広島営業所	広島県広島市中区大手町 3-1-9		
		TEL 082-544-1750	FAX 082-544-1751
徳島営業所	徳島県徳島市東大工 1-9-1		
		TEL 088-624-8061	FAX 088-624-8062
松山営業所	愛媛県松山市樽味 4-9-22		
		TEL 089-986-8562	FAX 089-986-8563
福岡営業所	福岡県福岡市博多区博多駅東 3-13-21		
		TEL 092-415-4466	FAX 092-415-4467
熊本営業所	熊本県熊本市東区健軍本町 1-1		
		TEL 096-214-2800	FAX 096-214-2801
大分営業所	大分県大分市東大道 1-11-1		
		TEL 097-543-7745	FAX 097-543-7746
東京オフィス	東京都渋谷区代々木 2-13-4		
		TEL 03-5358-3593	FAX 03-5358-3968
尾羽園場	静岡県静岡市清水区尾羽 587-1、587-2		
富士宮農場	静岡県富士宮市内房 1700 番地		

環境管理責任者 : 品質保証課 伊東 真一
連絡先 TEL 054-364-5302 FAX 054-371-4302

事業内容 : 小型産業用ロボット及びそのコントローラーの開発・設計・製造・販売
農業、環境保全技術の研究開発並びその技術供与

事業規模	:	活動規模	単位	2022 年	2023 年	2024 年
		売上高	百万円	34,500	34,600	36,600
		総従業員	人	1,425	1,487	1,497
		床面積	m ²	52,533	52,533	114,334
		敷地面積	m ²	739,171	739,171	739,171
		圃場面積	m ²	38,454 (尾羽、富士宮)	38,454 (尾羽、富士宮)	38,454 (尾羽、富士宮)

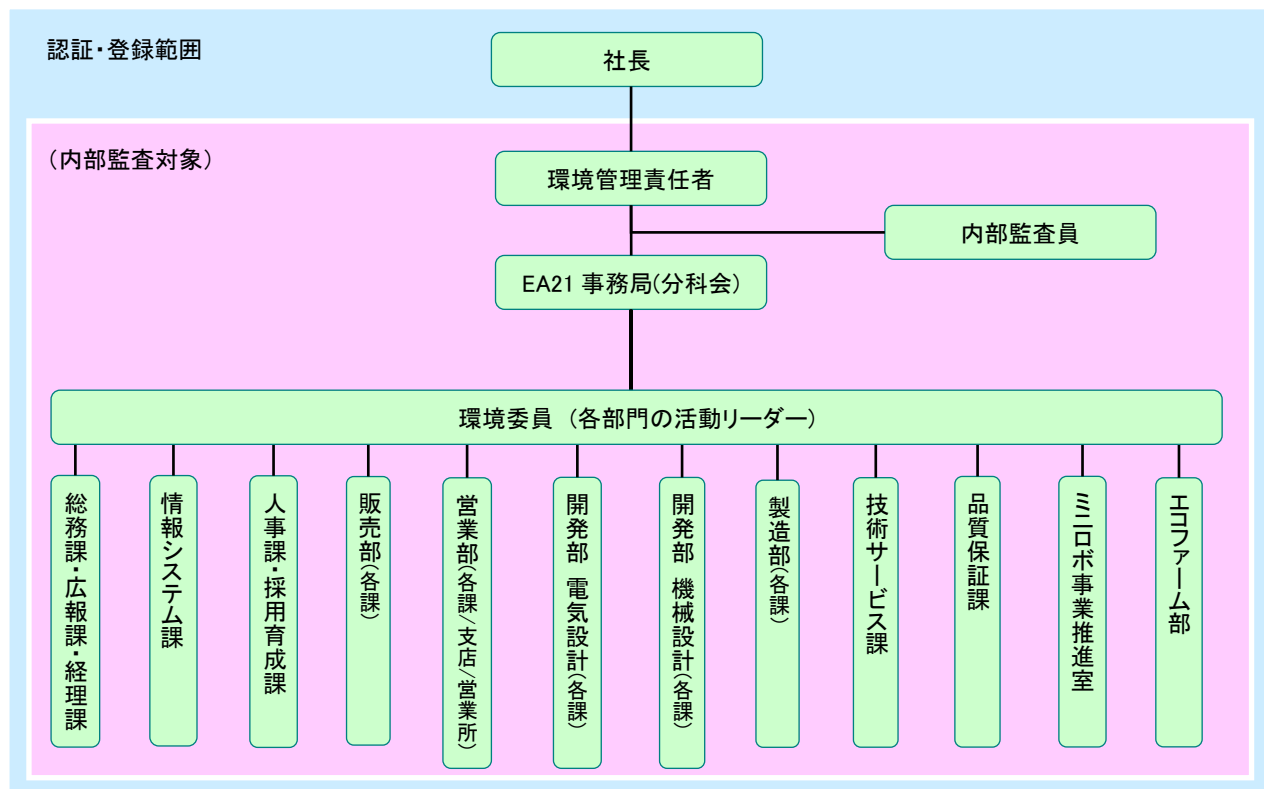
事業年度 : 1 月～12 月
URL <https://www.iai-robot.co.jp>

1-2 認証・登録の対象組織

登録組織名 : 株式会社アイエイアイ
関連事業所 : 本社・本社工場、尾羽第一工場、尾羽第二工場、富士宮工場、
全営業所(31ヶ所)、東京オフィス、尾羽圃場、富士宮農場
(全組織、全従業員を対象とする)

2 対象範囲

2-1 組織図



2-2 役割分担

組織名称	役割・責任
社長	環境方針を定め活動計画を承認、資源(人材・資金・技術)を用意、システムの実績を社長に報告し、指示を受ける 環境経営レポートを社長に報告する
環境管理責任者	システムの総責任者としての役割権限を他の責任にかかわらず持ち、システムの運用・実施状況についての監査 (監査: 2 回/年)
内部監査員	システムの運用・実施状況についての監査 (監査: 2 回/年)
EA21 事務局	- 各分科会メンバーに属し、個別課題を遂行することで EA21 の活動を円滑に進める - 関係部署の環境委員へ必要な情報を伝達する - 環境関連法規等の取りまとめと見直し - 環境経営レポートの作成
各部門責任者	自部門における EA21 の総括責任者 自部門における EA21 運用指示及び進捗状況の把握 課題とチャンスの明確化
各課課長、各営業所所長	自部門における EA21 の責任者 自部門において環境活動計画、工程表の立案、進捗状況の監督 課題とチャンスの明確化
環境委員 (各部門の活動リーダー)	- 自部門(課)における EA21 の各部門の活動リーダー (活動計画の遂行、進捗状況の確認・記録・報告、環境負荷実績の確認) - EA21 事務局会議、分科会での決定事項の展開 (実施対応、連絡・周知・教育、使用化学物質調査、環境方針、変更の周知)

環境経営方針

〔基本理念〕

当社は、省エネルギーに貢献する商品の開発・普及に努めると共に、環境保全に配慮した事業活動を推進します。

〔行動方針〕

- (1) 省資源・省エネルギーに役立つ産業用ロボット及びコントローラー製品を開発し、品質・性能を向上させ、その普及により地球環境の保護に貢献します。
- (2) 化学合成農薬及び化学合成肥料を使用しない農業生産技術と省エネルギー農業生産技術の開発と普及に努め、環境負荷軽減と我が国の農業生産力と食料自給率の向上に貢献します。
- (3) 環境経営方針・目標を定め、省エネルギー、3R(リデュース、リユース、リサイクル)活動を推進し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量および水使用量を削減します。
- (4) 化学物質使用量の把握・管理を適正に行います。
- (5) 環境関連法規を遵守します。
- (6) 環境経営レポートを社内外に公表し、社会とのコミュニケーションを大切にします。
- (7) 環境経営方針を全従業員に周知し、全員参加で環境活動に取り組みます。また、定期的な見直しにより、環境経営システムの継続的改善を図っていきます。

制 定：平成 21 年 11 月 16 日
改定 4：2019 年 11 月 8 日

株式会社アイエイアイ
代表取締役社長

石田 徹



4 環境経営目標

4-1 中期目標(3年)と2024年度当期目標

2021年度を基準とし、2024年度まで以下目標値を設定する。

項目	2022年度目標	2023年度目標	2024年度目標
二酸化炭素排出量	-1.0%	-2.0%	-3.0%
一般廃棄物排出量	-2.0%	-4.0%	-4.0%
産業廃棄物排出量	-1.0%	-2.0%	-2.0%
水使用量	-1.0%	-2.0%	-3.0%
環境負荷物質の適正管理	各部門で法規制を遵守し適正管理を実施		
自らが生産・販売・提供する製品	各部門の個別目標値とする		

原単位は以下の通り

- 二酸化炭素排出量 : 売上1億円あたり
- 一般廃棄物排出量 : 生産台数1万台あたり
- 産業廃棄物排出量 : 生産台数1万台あたり
- 水使用量 : 従業員延べ人数あたり

4-2 新中期目標(3年)と2025年度目標

2024年度を基準とし、2027年度まで以下目標値を設定する。

項目	2025年度目標	2026年度目標	2027年度目標
二酸化炭素排出量	-1.0%	-2.0%	-3.0%
一般廃棄物排出量(可燃物)	-1.0%	-2.0%	-3.0%
産業廃棄物排出量	-1.0%	-2.0%	-3.0%
水使用量	-1.0%	-2.0%	-3.0%
環境負荷物質の適正管理	各部門で法規制を遵守し適正管理を実施		
自らが生産・販売・提供する製品	各部門の個別目標値とする		

原単位は以下の通り

- 二酸化炭素排出量 : 売上1億円あたり(継続)
- 一般廃棄物排出量 : 生産台数あたり×0.6+従業員数あたり×0.4(変更)
- 産業廃棄物排出量 : 生産台数1万台あたり(継続)
- 水使用量 : 従業員延べ人数あたり(継続)

5 環境経営目標と実績

5-1 数値目標及び実績

CO₂ 排出係数: 2021 年-0.472(kg-CO₂/kWh)、2024 年-0.379(kg-CO₂/kWh) ※中部電力(株)調整後排出係数

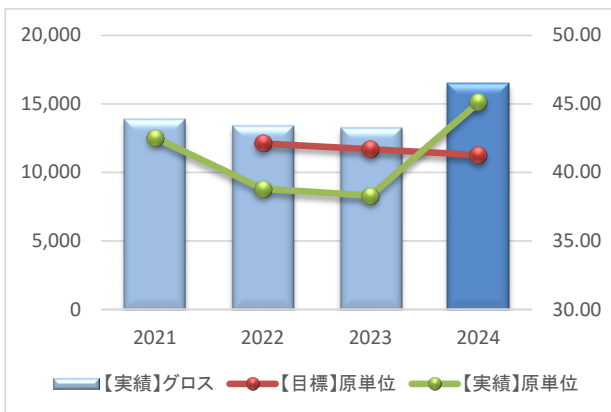
達成率 : (目標値/実績値) × 100[%]

評価 : ○ 達成率 100%以上、△ 達成率 80%~100%未満、× 達成率 80%未満

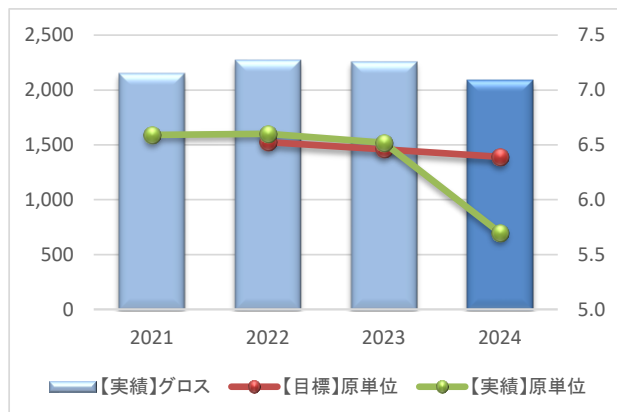
項目		単位	2021 年 基準	2024 年 目標	2024 年 実績	達成率	評価
二酸化炭素 排出量 【原単位】 売上 1 億円 あたり	電気使用量	購入電力 (クロス・MWh)	13,887	13470	16,493	91.6%	△
		購入電力 (原単位・MWh)	42.5	41.3	45.1		
	ガソリン使用量	使用ガソリン量 (クロス・百ℓ)	2,152	2,087	2,092	111.9%	○
		使用ガソリン量 (原単位・百ℓ)	6.59	6.39	5.70		
	LPG 使用量	使用 LPG 量 (クロス・t)	140.44	137.48	137.48	111.1%	○
		使用 LPG 量 (原単位・t)	0.43	0.42	0.38		
		排出量 (クロス・t-CO ₂)	6,206	6,020	7,165	94.2%	△
		排出量 (原単位・t-CO ₂)	19.01	18.44	19.60		
廃棄物排出量 【原単位】 生産台数 1 万台あたり	一般廃棄物	排出量(クロス・t)	226.4	217.3	211.5	93.1%	△
		排出量 (原単位・t)	3.75	3.60	3.87		
	産業廃棄物	排出量(クロス・t)	716.0	701.7	750.53	92.5%	△
		排出量 (原単位・t)	12.95	12.69	13.72		
水使用量 【原単位】 従業員延べ人数 あたり		水使用量 (クロス・m ³)	19,136	18,753	21,580	96.6%	△
		水使用量 (原単位・m ³)	1.17	1.15	1.19		
環境負荷物質の適正管理		-	各部門で法規制を遵守し適正管理を実施		実施	-	-
自らが 生産・販売・提供する製品		-	各部門の個別目標値とする		実施	-	-

5-2 数値目標及び実績のグラフ

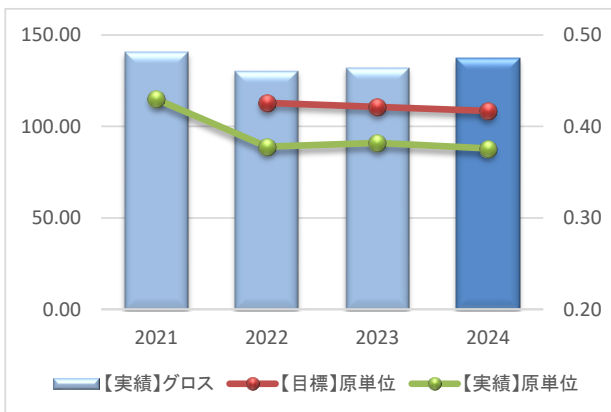
■電力使用量[単位:MWh]



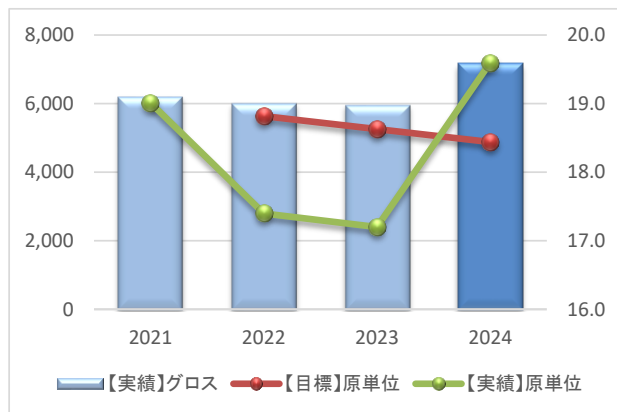
■ガソリン使用量[単位:百ℓ]



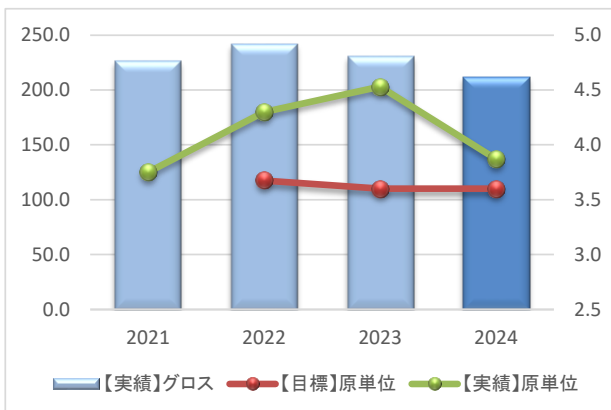
■LPG 使用量[単位:t]



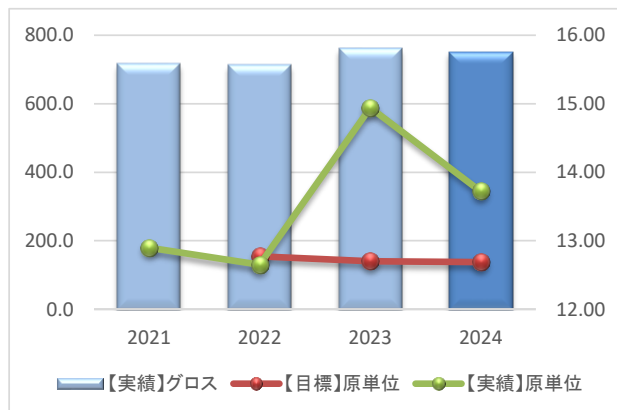
■二酸化炭素排出量[単位:t-CO₂]



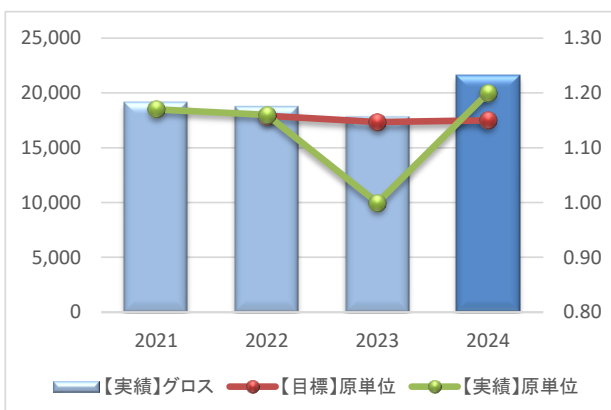
■一般廃棄物排出量[単位:t]



■産業廃棄物排出量[単位:t]



■水使用量[単位:m³]



2024 年実績コメント

新本社・工場の竣工(2024 年 7 月)による拠点増加の為、二酸化炭素排出量(電気使用量)、水使用量が増加しました。また、新本社・工場移転の関係で、什器等の処分や 5S 活動により、産業廃棄物も増加しています。

一般廃棄物はグロス(総排出量)では減少傾向にありますが、原単位換算評価による目標値は未達の為、原単位の見直しを実施しました。2025 年より適用します。

6 環境活動計画と取組事例

6-1 二酸化炭素排出量

6-1-1 活動計画と実績



項目		活動計画	活動部門	環境活動の取組	評価
二酸化炭素 排出量	電気使用量	・ 加工組立時間 10%削減活動	製造部	・ 年間削減目標 84,550 時間に 対し、86,900 時間を削減 (達成率 102.8%)	達成
	 本社工場太陽光発電パネル	・ エアー消費量 削減活動	生産技術課	・ 削減目標 10%に対し、13%削 減を達成し、エアー使用量削 減につながった。	達成
		・ ダイカストマシン、 溶解炉の点検・改修 により効率改善	ダイカスト課	・ ダイカストマシン、溶解炉の 点検・改修により効率改善を 図った	達成
		・ 照明 LED 化検討	総務課	・ 既存部の照明 LED 化実施 尾羽第一工場事務所棟 2F(生産 技術課、自動機開発課)、尾羽第 一工場 3F(自動機開発課)尾羽 第一工場 2F	達成
	 本社工場 BELS 認証	・ 環境に配慮した 新規工場建設	本社	・ 太陽光発電パネルの設置 (再生可能エネルギー) ・ 電力量モニターを設置し 使用状況の見える化 ・ Nearly ZEB の登録 (BELS 認証 5 つ星を取得)	達成
	ガソリン 使用量	・ エコカー導入を推進	全社	・ ハイブリッドカーを 27 台導入 ガソリン使用量目標達成	達成

6-1-2 次年度活動計画

項目		2025 年度活動計画	活動部門
二酸化炭素 排出量	電気使用量	・ 加工組立時間 10%削減活動(部全体年 83,200 時間削減目標)	製造部
		・ 加工機のエネルギー原単位設定と電力使用量の計測を行い 更なる削減を検討	生産技術課
		・ ダイカストマシン、溶解炉の点検・改修により効率改善	ダイカスト課
		・ 尾羽第一工場の照明 LED 化(残箇所、故障・メンテナンス時)	総務課
		・ 環境負荷状況を継続的に監視・把握 ・ 再生可能エネルギー使用	全社
	ガソリン 使用量	・ エコカー推進(新規/更新時 50%以上エコカー)	全社

6-2 廃棄物排出量



6-2-1 活動計画と実績

項目	活動計画	活動部門	環境活動の取組	評価
廃棄物排出量	一般廃棄物	・ 分別推進により、資源ゴミ増加	・ 分別推進により可燃物が減少し資源物が増加した	達成
		・ ペーパータオル全数リサイクル	・ 新規業者契約によるペーパータオルの全数リサイクル実施	達成
	産業廃棄物	・ 廃棄樹脂削減の推進 ・ 廃棄物回収回数削減	・ 取出しチャック板の活用により成形不良が削減	達成

6-2-2 次年度活動計画

項目	2025 年度活動計画	活動部門
廃棄物排出量	・ 更にゴミ分別を明確化しリサイクルを徹底	全社
	・ ホットスプルー構造の金型製作を推進し、廃棄樹脂削減 ・ 既存金型でのランナーの廃棄容積低減を行い、廃棄物回収回数削減に努める	樹脂成形課

6-3 水使用量



6-3-1 活動計画と実績

項目	活動計画	活動部門	環境活動の取組	評価
水使用量 	・ 漏水箇所のこまめなチェック実施	全社	・ 水回りに節水シールを貼り、注意喚起を実施 ・ 自動水栓の水吐出量調整	達成
	・ 環境に配慮した工場建設	総務課	・ トイレ手洗い自動水栓 ・ 井戸水ろ過装置と貯水タンクの設置	達成

6-3-2 次年度活動計画

項目	2025 年度活動計画	活動部門
水使用量	・ こまめな漏水チェックと漏水危険機器の早期交換を実施	各工場
	・ 井戸水の有効活用(本社工場、富士宮工場)	総務課

6-4 環境負荷物質の適正管理



6-4-1 活動計画と実績

項目	活動計画	活動部門	環境活動の取組	評価
環境負荷物質の適正管理	- 環境負荷物質(化学物質排出量・使用量)を把握する - 環境関連法規を遵守する	全社	- 環境負荷物質(化学物質排出量・使用量)の調査を実施 - 環境関連法規を遵守 - アブソ電池不搭載機種拡大により、産廃の削減と共に自然界への化学物質流出リスク低減	達成

6-4-2 次年度活動計画

項目	2025 年度活動計画	活動部門
環境負荷物質の適正管理	- 環境負荷物質(化学物質排出量・使用量)を把握する - 環境関連法規を遵守する	全社

6-5 自らが生産・販売・提供する製品



6-5-1 活動計画と実績

項目	活動計画	活動部門	環境活動の取組	評価
自らが生産・販売・提供する製品	小型化、ネットワーク製品の拡充(省配線)、部品点数削減	開発部	- 製品の軽量化や部品点数の削減を意識した設計 - ネットワーク製品の拡充(省配線)	達成
	アイエイアイ製品が環境に優しい製品であることを周知する	販売部	- ホームページに省エネコンテンツを新たに制作し、アイエイアイ製品が環境に優しいことを紹介 - お客様無料セミナーを開催し、アイエイアイ製品の使用による省エネ効果を説明(6613人受講)	

6-5-2 次年度活動計画

項目	2025 年度活動計画	活動部門
自らが生産・販売・提供する製品	製品の小型化(小形部品、軽量部品の採用等)、ネットワーク製品(省配線化)の更なる拡充を行い、環境負荷低減を図る。	開発部
	- アイエイアイ製品が環境に優しい製品であることを周知する - 省エネ推進の無料セミナー開催	販売部

7 環境保全と地域貢献活動



7-1 富士宮社有林の森林整備について

富士宮工場に隣接する社有森林では、生態系の健全性継続化を促すために杉や檜などの針葉樹林から広葉樹林への転換を推進しています。2024 年は 2.0ha を皆伐し、広葉樹を 2,000 本植樹しました。



植樹の様子

富士宮社有林の森林整備については 2012 年より行っており、本年度までに 34ha の森林整備を行いました。富士宮における整備予定の森林面積は約 40ha で、ヒノキを中心とする針葉樹の単層林（樹齢 65～75 年）です。

富士森林組合と提携し 2012 年より森林整備を開始しましたが、ムササビ、モリアオガエル、エビネなどの希少な動植物（静岡県レッドデータブック記載種）が生息しているため、環境負荷を最小限に抑えた手法で森林整備を実施しています。

また、針葉樹林から広葉樹の里山へと遷移させるため、自然植生の回復を図る地区と広葉樹を植栽する地区を設けて、2029 年の整備終了までに約 41,000 本の苗木を植える予定です。



伐採前



伐採後

7-2 里山の環境保全及び耕作放棄地の有効活用技術取組事例

7-2-1 田植え・稲刈体験



有機栽培によるうるち米、もち米の栽培を行いました。稲作体験教室として、田植えと稲刈りの2回実施しました。



田植えの様子



稲刈りの様子

7-2-2 社有地内のビオトープ



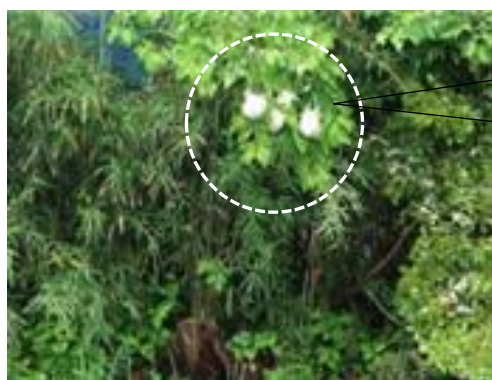
年間を通して環境整備や水位管理を行っており、モリアオガエル(準絶滅危惧種)などの産卵数が増加してきました。また、本年度もホタル観賞会を5月下旬から6月初旬に開催しました。



ビオトープ



ホタルが発光する様子



モリアオガエルの卵塊



7-3 環境事故訓練と法規遵守

7-3-1 環境事故訓練



切削廃油の漏洩、火災事故を想定した環境事故対応訓練を、尾羽第一工場加工第一課と尾羽第二工場ダイカスト課で実施しました。

ハウスの構造と風害の特性の講習(台風によるビニールハウスの倒壊や飛散を防ぐことを目的)、及びハウスの台風接近時の対策の実習をエコファーム部で実施しました。



訓練風景(加工第一課)



訓練風景(エコファーム部)

7-3-2 環境関連法規の遵守



環境関連法規の遵守状況を確認するため、作業環境測定(ばい煙、粉じん、特定化学物質)、排水測定、敷地境界騒音測定を実施しています。

7-4 地域コミュニケーション

7-4-1 工場見学

近隣小中学校生徒の皆様の工場見学受入れを実施しています。



小中学生の工場見学



7-4-2 地域貢献活動

(1) 興津川クリーン作戦への参加

興津川の清掃活動に参加しています。

(2) 本社設置大型ビジョン活用

本社に設置した大型ビジョンを地域のイベント等で活用しています。

(近隣中学校と連携し、体育祭や卒業式等での映像放映等)

(3) 清水みなと祭り・港かっぱれ総踊りへの参加

地元で愛されている清水みなと祭りの港かっぱれ総踊りへ、積極参加しています。

(2024 年は総勢 113 名+スタッフでの参加)

(4) エスパルスサポーターへ応援用フラッグの寄贈

地元球団であるエスパルスを応援するサポーターへ応援用フラッグ 3000 本を寄贈しました。



興津川クリーン作戦への参加



近隣中学校卒業式向けの写真映像放映



清水みなと祭りへの参加



エスパルスサポーターへ応援用フラッグの寄贈

7-4-3 ミニロボ普及活動



ミニロボとは「子供達にもものづくりに興味を持ってもらいたい」「理科離れを防ぎたい」という志のもと開発された組立式のサッカーロボットです。地元静岡の小学校へ出張授業、ユーザー向けの競技会や販売施設運営を行い、教育的な地域貢献活動を行っています。

(1)ミニロボチャレンジ教室

県内小学校約 70 校でミニロボを使った出張授業を開催しました。

社員が学校を訪問し、理科の授業、キャリア教育、プログラミング体験、組立体験などの授業を行っています。子供達は楽しみながら深い学びの実現に向けた学習を行っています。



キャリア教育授業風景



プログラミング授業風景

(2)ミニロボプラザ運営

ミニロボプラザとは「ミニロボの大会に向けて練習をしたい」「もっとミニロボを動かしたい」という、子供達の声に応じて開設したものです。利用可能時間にはスタッフが常駐して、修理や改造の相談も受け付けており、ミニロボ本体、その他パーツの販売も行っています。



ミニロボ組立作業と試運転の様子

(3)競技会運営

子供から大人まで集い、組立・改造したミニロボでサッカーの競技会を行っています。試合では激しくボールを奪い合い華麗にドリブル、シュートを決めています。日々改造や練習を重ねた参加者たちが優勝を目指し、真剣勝負を繰り広げています。



試合中の様子



優勝者トロフィー授与

7-4-4 障がいのある方や若年世代へのスポーツ機会の創出



(1) IAI パラスポーツパークの開設

敷地内に視覚障がい者や上肢、下肢に障がいのある方が優先的に利用できるスポーツ施設「IAI パラスポーツパーク」を開設しました。人工芝コート「パラフットボールエリア」(約 800 平方メートル)と車椅子サッカーやバスケットボールなどができる屋根付きの「多目的エリア」(約 420 平方メートル)、更衣室やシャワールームのある「クラブハウス」を整備し、様々な障がい者スポーツに対応できる施設となっています。



IAI パラスポーツパーク全体



2024 年 12 月竣工式



パラフットボールエリアでの競技の様子

(2) ネーミングライツパートナーシップ契約を通じたスポーツ機会の創出

静岡市のスポーツ振興への貢献を目的に、静岡市および株式会社エスパルスと清水日本平公園球技場ネーミングライツパートナーシップ契約を締結。契約に規定する球技場無償使用権に基づく事業として、IAI カップ静岡県チャイルドサッカー大会も開催し、多くの世代にサッカーを楽しんでもらう機会・場を創出しています。一般財団法人静岡県サッカー協会主催の SHIZUOKA U-12 S-LEAGUE にも協力・支援をしています。



IAI カップ静岡県チャイルドサッカー大会



SHIZUOKA U-12 S-LEAGUE への支援

7-5 継続的な人材の育成(技能五輪への挑戦)

2021 年より技能向上と人材育成を目的として、技能五輪全国大会フライス盤競技に 23 歳以下の若手社員が挑戦しています。技能五輪全国大会フライス盤競技では部品図の加工要素や公差を理解し、加工工程の検討や正確な測定ができる技能が求められます。

全国大会では日本を代表する大手企業の代表選手と競い、2022 年に銀賞、2023 年、2024 年に敢闘賞を受賞することができました。2025 年も更なる技能向上と上位入賞を目指し挑戦します。



代表選手練習の様子



2024 年敢闘賞受賞 松代選手



制作課題

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規制の遵守状況を確認した結果、利害関係者からの環境に関するクレーム、苦情はありませんでした。(法令違反、訴訟等はありません。)

法規などの改定(最新版)確認日:2025年1月31日

遵守確認実施日:2025年1月31日

遵守確認者:環境管理責任者 伊東真一

法規・条例・規制の名称	細目	遵守状況
工場立地法	工場建設時の届出	遵守
土壌汚染対策法	工場建設時の届出	遵守
消防法	防火管理者の選任 危険物保管量の管理、届出	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) (一般廃棄物多量排出事業所減量化指導要綱:静岡市) (事業系一般廃棄物の減量化等に関する指導要綱:富士宮市)	・電子マニフェスト発行 ・事業系一般廃棄物減量化計画、 一般廃棄物排出量報告 ・事業系一般廃棄物管理責任者選任届	遵守
静岡市産業廃棄物適正処理条例	産廃処分委託先の实地確認 (委託先が優良業者である場合は、实地確認不要)	遵守
静岡市廃棄物の処理及び減量に関する条例	適正処理及び再生利用の促進等による減量	遵守
資源有効利用促進法	・原材料等の使用の合理化 ・再生資源及び再生部品を利用	遵守
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	・特定家庭用機器廃棄物の排出抑制 ・特定家庭用機器廃棄物の再商品化の協力	遵守
浄化槽法	設置届出 法定検査(第11条) 保守点検 定期清掃	遵守
労働安全衛生法 (労働安全衛生施行令、労働安全衛生規則) ・粉塵障害防止規則 ・特定化学物質障害予防規則 ・有機溶剤中毒予防規則	危険・有害物質の管理 粉塵測定 機械等設置届(局所排気装置摘要書) 化学物質による健康障害の防止 有機溶剤による健康障害の防止	遵守
騒音規制法 振動規制法 静岡県生活環境保全等条例	特定施設(コンプレッサー、成形機等)の届出 "	遵守

大気汚染防止法 (静岡県生活環境保全等に関する条例)	特定施設(ばい煙・粉塵発生施設、 ばい煙測定	遵守
水質汚濁防止法 (静岡県生活環境保全等に関する条例)	特定施設(高周波焼入れ装置、ダイカストマシン)の届出、排水測定	遵守
PRTR法	対象物質(第1種指定化学物質)の届出	遵守
毒物及び劇物取締法	盗難漏洩防止処置 毒劇物の施錠管理、容器表示、台帳管理等	遵守
農薬取締法	使用基準の遵守	遵守
省エネルギー法	・エネルギー管理統括者の選任 ・エネルギー管理企画推進者の選任 ・エネルギー管理員の選任 ・中長期計画書の提出 ・定期報告書の提出	遵守
温暖化対策推進法	・排出した温室効果ガス算定量の提出	遵守
静岡県地球温暖化防止条例 (温室効果ガス削減計画制度)	・温室効果ガス排出削減計画書の作成・提出 ・削減報告書の作成・提出	遵守
フロン排出抑制法	・簡易、定期点検 ・廃棄時のフロン回収(業者)	遵守
環境保全に関する協定書 (富士宮市)	・排水、廃棄物の適正処理 ・自然環境の保全 ・関係諸法令の遵守	遵守
RoHS 指令 10 物質(顧客要求事項)	・法規制の遵守 ・顧客要求の遵守	遵守
REACH 規制(顧客要求事項)	・顧客要求の遵守	遵守

9 代表者による全体評価と見直し結果

【総合評価】

一般廃棄物について、目標未達要因を分析し、原単位の見直しを行ったことは良いことです。経過を観察し効果の確認を行ってください。従業員全員が、可燃物と資源物の分別、廃棄物の減量などを徹底し、目標を達成してください。
新本社・工場の稼働により、二酸化炭素排出量（電気使用量）、水使用量が増加しています。2025 年は新本社・工場の本稼働元年とも言えるので、環境負荷の状況を確実に注視・把握し、今後の低減活動に活かしてください。

【環境経営方針の見直し】

- ・ 変更はありません。

【環境目標/環境計画の見直し】

- ・ 2025 年度新環境目標の廃棄物排出量において一般廃棄物は 2024 年廃棄物内容分析結果から原単位を変更した。

【実施体制の見直し】

- ・ 変更はありません。

【具体的な取組み】

- ・ エコアクション 21 ガイドライン 2017 年版の推進・改善
 ＜施策＞
 2025 年度 新環境目標の達成
 製品含有化学物質管理の推進・改善

日付：2025 年 3 月 18 日

代表取締役社長

石田 徹